

◎座談会の開催

座談会の様子



場所: 佐伯市鶴見振興局会議室

広津留市議会議員、鶴見地区社協、鶴見振興局、鶴鶴(つつる)クラブ、地域見守りボランティアの方が参加

◎買い物代行支援の現場に立ち会った感想

朝9時に振興局、地区社協、ボランティア団体(鶴鶴クラブ)の方が、Aコープ鶴見店に集合。開店は9時30分からではあるが、Aコープ鶴見店の協力もあり、9時から買い物を行っている。今回は19名分の2週間分の商品を注文書で確認しながら、手際よく購入していた。9時30分から一般のお客さんも来るので、現場は戦場そのもの。最初の頃は、買い物をするのに何がどこにあるか分からなかったり、豆腐や納豆などの種類が豊富な物は希望しているものを探し出すのに時間が掛かったりと1時間30分ほどの時間を要していたが、今は40分ぐらいで買い物は完了している。その後は港まで商品を運んで買い物代行支援は終了。今後は扱う商品も増やしていく方向で、大島地区の住民からはアイスクリームが欲しいという要望があり、溶けずに運べるかも試験的に行っていた。ボランティアの方達が、大島に住んでいる方のことを思いながら、バタバタしながらも笑顔で楽しそうに買い物をしている姿がすごく印象的でした。

大島買い物支援事業の流れ

大島	① 購入者が注文書に記入
	② 注文書をお届け予定日(水曜日)の前日(火曜日)までにむつみ苑に持って行く ※電話でも受け付ける。
	③ むつみ苑職員が社会福祉協議会鶴見支部にFAX送付
さざなみ	④ ボランティア団体さざなみの支援員がお届け予定日当日、注文書により買い物
	⑤ 注文書ごとに品名、個数、合計金額を明示して袋に入れる
	⑥ 品物袋をまとめて、クーラーボックスに入れて漁協運搬船に持って行く
大島	⑦ 島に届いた商品をむつみ苑職員が受取り、むつみ苑で保管
	⑧ 購入者がむつみ苑に16時までに取りに行く。
	⑨ 配達を希望する人には、配達する。(消防団が中心となって)

買い物代行支援に同行した後に座談会を開催しました。

いろいろと貴重なお話を聞くことができました。一部になりますがご紹介いたします。

(質問) 支援を始めた頃に困ったことはありましたか。

(回答) 最初の頃は、何がどこにあるか分からず、すごい時間が掛かっていました。今は注文書を見て大体のコースを頭で考えながら、なるべく後戻りしないようにスムーズに流れる感じで買い物するようになりました。今はAコープ鶴見店の協力もあり、生鮮食品以外の商品を事前に揃えてくれているのでとても早くなった。当初は毎週買い物代行を行っていましたが、毎週となると辛いと思う部分があったので、無理のないように2週間に1回の支援に変更しました。ブラッシュアップしながら、より効率的な買い物ができるようになってきています。

(質問) 皆さんは大変な中にも楽しそうに買い物しているのが印象的でしたがどのような想いで支援をしていますか。

(回答) 家族の買い物をする以外にやっぱり人のために何かできるということは気持ちもいいし楽しいです。

(質問) 島民の方々は港まで取りに来られて自宅まで荷物を持ち帰られるのですか。

(回答) 船が着く時間に、大島の港で待ってもらっているような感じで手渡しというのがほとんどですね。

足腰が悪い人とかもいらっしゃるので、島の消防団の方が協力して配ってくれています。